

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

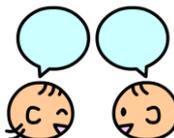
第 9 号 令和元年 12 月 20 日発行



充実した 2 学期でした

校長 松井 操人

8月20日に始まった2学期も、本日終業式を迎えました。始業式では子どもたちと「あたまとこころとからだを鍛えよう」「行事をがんばろう」と約束したのですが、子どもたちは2学期の毎日の学習や生活の中でしっかりと力をつけました。



「話す力」とともに高まる「聞く力」 家庭学習や読書も○

授業中の「説明・発表・話し合い」が盛んに行われています。自分の考えを相手にわかるように人前で話す子どもたちの姿がどの教室でも見られ、だんだん上手になっているのがわかります。相手の話を聞いてその場で感想を言ったり質問したりすることもできるようになってきました。「聞いて理解する力」も同時に高まっています。

家庭学習は、保護者の皆様のご協力もあり、1学期よりも確実に定着してきました。読書もがんばっています。



たてわり活動でたくさんの笑顔 あいさつは△？

「なかよし集会」「給食交流」「たてわり清掃」「交流遊び」など、異なる学年がさまざまな場面で一緒に活動を行いました。それにより、相手を理解しようとしたり相手の気持ちを考えたりすることができるようになってきています。子どもたちが笑顔で活動している様子が何よりうれしいことです。

あいさつは、地域や保護者の皆様に対しては十分とは言えないこともあるようですので、指導を継続していきます。



なわとび、マラソンで体力作り 行事はすべて大成功◎！

2学期の大きな行事である「6年生修学旅行」「5年生宿泊研修」「学芸会」は、準備に時間をかけただけのことはあり、どの行事もそれぞれの目的を達成できました。あたま・こころ・からだのすべてに関係する活動なので、子どもたちの成長そのものが大きな成果と言えます。

体力作りは、学校で行うこと以外に「ゲーム・ユーチューブ・スマホ」の使い方、早寝早起きや食事など、ご家庭の協力なしには指導が難しいことがたくさんあります。これからもご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年(2019年)も残すところあと少しとなりました。地域・保護者の皆様に賜りました本年のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。ご家族おそろいで、健康でよい新年を迎えられますようご祈念申し上げます。



たのしみは いちねんが終わる大みそか ちょっと大人に近づける時 (6年 本田美彩希さん)

(第14回北海道小中高生短歌コンテスト 入選作)